

自民党 県会報告 第186号

6月県議会 定例会 会期 6月21日(木)～7月6日(金)

新しいふくしまへの創生に向け、復興の加速化を実現する!

6月定例会は6月21日から7月6日までの16日間の日程で開催され、復興・創生の実現に向けて緊急に措置すべき経費などの、平成30年度一般会計補正予算や、県政当面の重要な案件について審議し、条例や意見書など44件を可決いたしました。

自民党県議会からは代表質問1名、一般質問4名が登壇し、復興と地方創生を更に前進させるための、県の施策についていただきました。一般会計補正予算の主な内容については以下の通りです。

平成30年度一般会計補正予算 22億5,500万円

【主な内容】

- 会津縦貫北道路(若松北バイパス)と会津縦貫南道路(下郷田島バイパス)の整備推進事業(5億8,380万円)
- 夏井川河口部の治水対策事業(5億9,125万円)
- 小名浜港三崎航路の拡幅、防波堤の延伸等整備事業(7億3,100万円)
- Jヴィレッジの全面営業再開を見据え、利活用方策を検討する取組(2,082万円)
- 欧州で開催される展覧会に出展し、観光客の誘客を促進する取組(1,235万円)

自民党議員会が提出し可決した意見書

- 「復興・創生期間」後を見据えた福島県の復興加速化の推進を求める意見書
- ライドシェアの導入に反対するとともにタクシー事業の適正化・活性化の推進を求める意見書

ふくしま自民党LINEはじめました LINE@

党活動や県議会活動など様々な情報を発信していきます。あなたのLINEのお友達にもぜひ紹介してください。

登録はこちらのQRコードから



代表質問(平成30年6月26日)



自民党議員会を代表して、総務会長の渡辺義信議員(白河市・西白河郡選出)が登壇し、代表質問を行いました。

Q知事は今後の県政にどのような姿勢で臨むのか

A内堀知事

先頭に立って挑戦を続け、復興・創生の取組を新たなステージへと推し進め、「復興の地ふくしま」の実現に向け、全力を尽す。

Q県産品の輸出拡大への取組は

A内堀知事

SNSや国境を越えた通信販売を活用するなど、新たな手法にも挑戦し、国や関係機関・団体と連携し、戦略的な取組を進め輸出拡大を図る。

※HACCPとは・・・加工食品の製造工程の衛生管理を向上させ、製品の安全性を確保するための手法。

QHACCP※導入促進への取組は

A保健福祉部長

全業種を対象に導入のための手引きを作成し、保健所ごとの導入支援研修会の開催や、食品衛生監視員による現地調査、個別相談により導入を支援していく。また、消費者を対象にした出前講座などで、制度の普及啓発を進める。

Q公立小中学校の児童生徒の学力向上への取組は

A教育長

県内7地区で、授業づくりと学級経営に関する改善の視点や方策について、学び合うセミナーを新たに開催し、教員の指導力を高めることで、児童生徒の学力向上を図る。

自民党議員会の活動

只見線復旧工事着工! 改正鉄道軌道整備法が成立

6月15日、平成23年の豪雨により甚大な被害を受けた只見線の復旧工事が着工しました。

これまで、自民党議員会は、只見線の全線復旧に対する財政的支援を求め、政府や党本部へ、鉄道軌道整備法の改正などの要望を繰り返してまいりました。

これを受けて、自民党本部が主体となって改正案を提出し、同15日に可決成立致しました。これにより、復旧工事費用の3分の1の27億円を国が負担することとなりました。



只見線復旧工事起工式(金山町)

災害関連緊急 地すべり対策事業へ採択!

(喜多方市地すべり災害)



岸田政務調査会長への要望



現地調査(喜多方市)

自民党議員会は、6月6日、喜多方市揚津地区で発生した地すべり被害の現地調査を行いました。土砂崩落や農地の亀裂などの被害状況を確認し、翌7日に内堀知事に対して、原因究明や被害拡大の防止について、申し入れを行いました。また、13日に党本部を訪れ、岸田文雄政務調査会長に、国の「災害関連緊急地すべり対策事業」への採択を強く要望してまいりました。

その結果、農林水産省が6月20日付で採択をし、「集水井」新設などの事業費の、3分の2を国が支援することとなりました。

自民党議員会は、今後も、党本部、国、県と連携し、一刻も早い復旧に向けて全力で取り組んでまいります。